

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	39 高知県
市区町村名	39424大月町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
39424大月町	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	・教職員が学習に必要な講師を探したり、調整を行う等負担となっている。 ・地域学校協働活動推進員が、小学校と中学校での関わり方が大きく異なっている。 ・地域学校協働活動推進員の役割を明確にし、教職員の負担軽減を図ることが必要。	・小学校・中学校ともに地域学校協働活動推進員の役割を再認識してもらい、講師を探すことや日程調整等を地域学校協働活動推進員に任せる形をとる。 ・地域学校協働活動推進員は偏りがないように小学校・中学校との年間計画等を立て、教職員の負担軽減に繋げていく体制を整える。	・運営委員会等で地域学校協働活動推進員に関する設置要綱の確認と周知を行い、役割を明示した。 ・地域学校協働活動推進員の役割として、学校の要望に合わせた講師等の選定や、活動実施日・準備物の調整を依頼した。	・地域学校協働活動推進員が講師を探したり、日程調整を担ったりすることで、教職員の負担軽減に繋げる。 ・小中学校への潜在時間を均等にすることで、双方の教職員の要望に応えられる態勢を作る。	教職員の業務改善割合	40	%	50	45	(成果) ・総合学習の講師依頼や日程調整を地域学校協働活動推進員が実施したことで、教員が自身の担当業務に専念することができた。 (改善点) ・教員の負担軽減の一方で、地域学校協働活動推進員の位置付けが「総合学習専門員」のようになっており、他の活動の調整に割く時間が少なくなった。 ・1人の地域学校協働活動推進員を小中学校兼任で配置しているが、小学校への潜在が多く、中学校が必要とするタイミングで連携を取ることが難しい場面があった。R8年度では、1週間の中で小中にそれぞれ滞在する日を設け、小中間で差が生じないようにする。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。